

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

山中 左衛子

1. 授業の概要(ねらい)

当ゼミは、宿泊業、飲食業、旅客業、エンターテインメント業など、ホスピタリティ産業を対象に「ホスピタリティマネジメント」という経営の視点(組織文化、マーケティング、組織マネジメント)で研究したい人を求めます。各国のホスピタリティ、日本の地域特有のもてなしについて興味がある人も歓迎します。テーマを具体的に絞りこんで、基本的にグループで調査研究を行い、グループで批評し合い、協働して問題解決型の論文を書き上げます。

研究テーマとしては、新型コロナウイルスの流行による人々の行動様式の変化、特に対面接客の常識を変えたAIの導入加速など、非接触化と省力化、さらに産業全体のSDGsに対する取り組みなども含まれます。

また企業人として必須の「考えて伝える力」を磨く時間を設けます。皆さんは、さまざまな話題で「発言する」ことから始め、主にホテルビジネスでの社内外の場面を想定したケーススタディやホスピタリティ産業に題材を取った新聞・雑誌等の記事をもとに意見を出し合い、短い文章を書くことを繰り返して「思考を言葉にする」力の向上を目指します。

なお産業界からゲストスピーカーを招くことがあります。

2. 授業の到達目標

- (1) 修得した知識等を活用し、主として観光、ホスピタリティ産業のなかから、自らの興味に応じて研究テーマを設定、研究計画を立てられるようになります。
- (2) 問題を発見、情報を収集して原因を探り、問題の改善への一歩を考えるようになります。
- (3) 企業人として必須の前に踏み出す力、チーム力、プレゼンテーション力、メール・文書作成力等を修得します。
- (4) 将来に対する目標を持ち、主体的に行動することができるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須です。無断欠席、やむを得ない理由以外の発表準備・発表当日の欠席は、減点します。成績評価の方法は、発表内容(評価割合40%)、グループワークへの積極的な参加(評価割合20%)、リアクションペーパー(評価割合20%)、ゼミ運営への貢献(評価割合20%)から構成されています。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配付します。

訪日外国人消費動向調査(観光庁HP)

訪日外客数統計・データ(JNTO HP)

参考文献

デービッド・アトキンソン 『新観光立国論』 東洋経済新報社

徳江順一郎(編著)石川達也・植松大介・内田彩・木本和男・崎本武志・杉浦康広・高橋祐次・田上衛・竹内俊彦

永山久徳・成美信吾・山中左衛子 『宿泊産業論』 創成社

戸田山和久 『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHKブックス

5. 準備学修の内容

必要に応じて、授業の終わりに次回のテーマに関連した資料を配付しますので、準備して参加しましょう。
訪日外客数の統計・データ(JNTO 日本政府観光局)については、各自目を通し、概要を把握しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

本演習で自分の研究テーマを追求することは、就職の際はもちろん、社会人になってからも必ず役立つ経験になります。なお、第9回「資料の探し方」をLMSによるオンライン授業とする予定です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション、自己紹介 |
| 【第2回】 | フレームワークとは
PREP法 文章の書き方 |
| 【第3回】 | 産業別の課題① グループ討議① |
| 【第4回】 | 産業別の課題② グループ討議② |
| 【第5回】 | 産業別の課題③ グループ討議③ |
| 【第6回】 | 研究テーマの仮設定とグループ分け |
| 【第7回】 | 仮テーマに沿ったグループ別討議とテーマ決定、テーマの絞りこみ |
| 【第8回】 | 調査・研究の進め方 |
| 【第9回】 | 資料の探し方(LMSによるMELICセミナーを予定) |
| 【第10回】 | 調査・研究・討議① |
| 【第11回】 | 調査・研究・討議② |
| 【第12回】 | 調査・討議③ |
| 【第13回】 | 調査・討議④ |
| 【第14回】 | 方向性プレゼンテーション |
| 【第15回】 | 後期に向けて |